

Smile Woman! インタビュー⑤9!

この人の仕事のカタチ
どこか輝いて見える「仕事」をしているあの人にズームアップ。

奏者のお役に立つ 「楽器リペアマン」に



Yuina Tajima

「楽器リペアマン」の修業のために、はるばる大分県から岡山県にやってきた女性がいる——との情報をもとに訪ねたのは「管楽器修理工房服部」（岡山市北区表町）。そこを出迎えてくれたのがリペアマン見習いの田嶋侑奈さん。「大胆な決断だったのでは？」との質問に「中学生の頃から憧れ続けた『楽器リペアマン』になりたい一心でした。迷いはありませんでした」。おとなしそうな外見とは裏腹な熱い内面。そのギャップに驚く。

●中学生時代からの夢

田嶋さんと楽器リペアマンとの出会いは、吹奏楽部に所属していた中学生時代にかかばる。所有する自分のトロンボーンを度々修理してもらっていた。「へんだら、傷が入ったり、修理の内容は様々ですが、どんな不調も原因を見つけて直してくれる。奏者にしては頼もしい存在でした」と話す。奏者として一流を目指すのではなく、楽器修理のプロとなる道を選んだ。そんな田嶋さんは、ささ楽器の美しさに惚れ込んでいると思いきや「楽器の魅力は穴がたぐさぐさ開いていて、吹けば音が出る」と笑う。楽器に魅せられてというよりは奏者のお役に立ちたいの思いが強いようだ。

●夢実現へ努力の日々

今年1月から始まった岡山県での修業生活は、服部借店長から与えられた課題をクリアするため「コツコツ努力する日々」。「最近はやすりがけや、ク

管楽器修理工房服部

田嶋 侑奈さん



ラリネットの解体をしました。店長は厳しいので、なかなかOKが出ないんです——」一流のリペアマンになり奏者の力になりたいというひたむきに作業に取り組み彼女にエールを送りたい。夢や希望が持てない若者たちがあふれている現代社会に一石投じる姿勢に思われる。まだまだ始まったばかりの修業生活だが、夢は大きく「独立して、地元大分県で3号店を開くこと」と目を輝かす。これからの長い道のりを、一步一步大切に踏みしめていく欲し。

●忍耐強く、九州人パワーも

岡山県にきて間もない田嶋さんの楽しみは近所を探索すること。「見るもの全てが新鮮に感じます。言葉の違いや、雨がほとんど降らないことには驚きましたね」と話す。「休みの日は本を読んだり、音楽を聴いたりします。お酒も好きで飲みます」——忍耐強く、酒にも強い九州人パワーを見た。すべてがまだ序奏の彼女に限りない可能性を感じると同時に、現代の若者が彼女の背中を見て、熱い想いに触れて感化されることを期待する。